

【テーマ】「学修成果の可視化『ポートフォリオ』」

【主催】教育システム分科会

活動報告

日 時 : 2019年12月13日 (金) 13:30~17:00
場 所 : 東京都市大学 二子玉川夢キャンパス 二子玉川ライズ・オフィス 8階
出席者 : 70名

1. 研究内容

変化の激しい予測不可能な時代の中、高等教育は、学修者が自らの可能性を最大限に発揮するとともに、多様な価値観を持つ人材が協働して社会と世界に貢献していく人材の育成が求められています。本研究会では、東京都市大学様の取り組み（平成28年度大学教育再生加速プログラム（AP）の高大接続改革推進事業 テーマVI「卒業時における質保証の取組の強化」に採択）を伺い、自大学は課題解決のため、何ができるのかを研究しました。

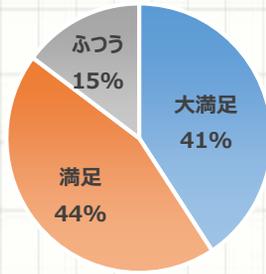
2. スケジュール

13:30~13:40	全体会 ・事務連絡 ・会場校ご挨拶 東京都市大学 総合情報システム部 部長 大庭 稔尚 氏
13:40~14:40	ご講演 『学修成果の可視化の試み ディプロマ・サブメントシステム 「TCU-FORCE」の開発を通じて』 東京都市大学 学生支援部 部長 住田 暁弘 氏 総合情報システム部ICT推進課 課長 靱江 哲生 氏
14:40~14:50	名刺交換・休憩
14:50~16:05	意見交換
16:05~16:15	休憩
16:15~16:35	製品紹介『ポートフォリオ活用による学生を中心とした教育の質向上 ~Unified-One e-Portfolio V1 Basic~』 富士通株式会社 文教・地域ソリューション事業本部 第一ソリューション事業部 第一ソリューション部 原井 萌 氏
16:35~16:55	施設紹介（自由見学） 東京都市大学 企画・広報室 部長 浦田 充起 氏
16:55~17:00	まとめ
17:00	終了

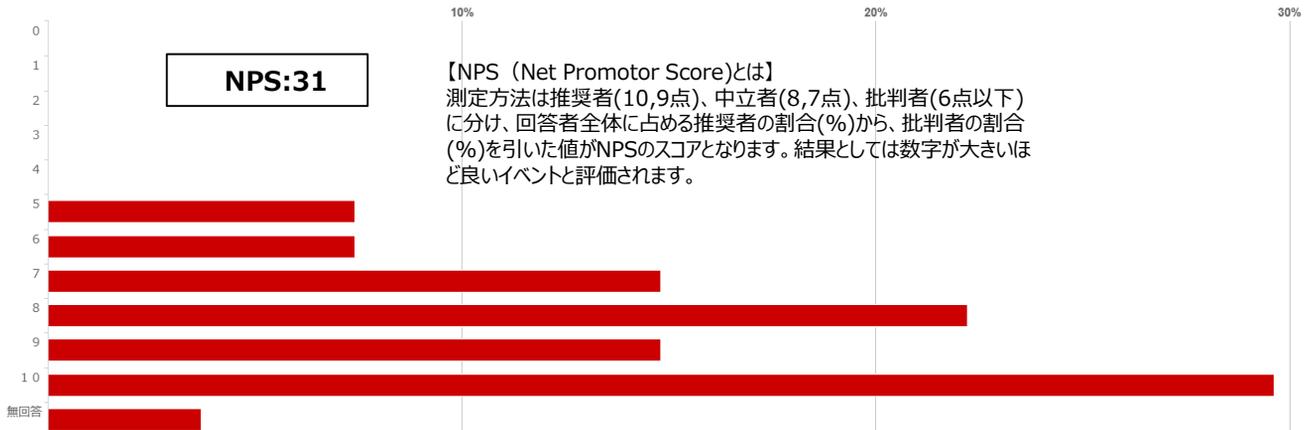


3. アンケート結果について

■ 本日の「プログラム内容」について満足度をお選びください



■ 今回の分科会を、どのくらい他の人に推奨したいと思いますか？ 0(おすすめしない) ~10(おすすめしたい)



■ NPSの点を付けた理由を具体的にお書きください

- ✓ 多くの大学の事例を知りたかった
- ✓ 参考になるから
- ✓ F製品での先行事例でとても参考になった
- ✓ 管理部門には進められないが他大学の方には進めたい
- ✓ グループワーク→質疑応答の流れが充実していた。(他グループの意見を聞くことができた)
- ✓ 他大の取組みを参考にできるので
- ✓ 本学でもポートフォリオの導入を検討しているため、先行事例のある大学は大いに参考になる
- ✓ 参加者の内容に関する知見の幅がありすぎると感じた
- ✓ 大学毎の違いや共通点を改めて確認できて刺激が多いと思います
- ✓ 今、必要な課題の勉強会だったから。
- ✓ キャリア系の立場から、考えて欲しい内容であるため
- ✓ 非常に参考になる事例を聞かせていただきました
- ✓ 他大の情報をえられたから
- ✓ 他大学の先行導入事例を知ることができた
- ✓ 体感することが大切

■ 本日の分科会を実施して、開催テーマに対して得られた研究成果(疑問や課題等含めて)をお書きください

- ✓ ポートフォリオ、シラバス、ルーブリック評価、カリキュラム、出欠管理等々をワンパッケージで関連を
- ✓ 他大学と課題共有できた
- ✓ ポートフォリオへのエビデンス入力難しさ
- ✓ TCU-FORCEですが、学内調整の難しさ、科目との連携など様々な課題があることが分かりました。大変参考になりました
- ✓ とても大事なことですが負担が課題
- ✓ 可視化手法
- ✓ 導入に向けた課題等が見えてきた
- ✓ どのようにポートフォリオを活用し、今後、構築するかのイメージができた
- ✓ 全学的取り組みとして行う。教員協力etcの難しさ
- ✓ デイプロマサブメント、学修ポートフォリオシステム問題点の解決方法
- ✓ 教職員の業務が多くなる。長時間労働

■ 次回以降取り上げて欲しいテーマがあれば教えてください

- ✓ 社会連携でのICT活用（学生のPBL）
- ✓ ルーブリック、DPの設定方法
- ✓ 内部質保証（ルーブリック、成績評価基準など）
- ✓ RPA、チャットボット
- ✓ 同様に「学修成果の可視化」について、議論してみたい
- ✓ IR
- ✓ FD

4. 参加校 [20校33名] ・参加企業[6社37名] ・参加総数[70名]

青山学院大学[1]
金沢工業大学[1]
金沢大学[1]
鎌倉女子大学[1]
神田外語大学[1]
関東学院大学[2]
共立女子大学[4]

芝浦工業大学[1]
尚綱学院大学[1]
清泉女子大学[2]
専修大学[1]
大東文化大学[2]
中部大学[2]
東京音楽大学[1]

東京家政大学[1]
東京都市大学[6]
東洋大学[1]
文京学院大学[2]
明治大学[1]
流通経済大学[1]

インフィニテック[1]
ディスコ[1]
電子システム[1]
富士通アドバンスドエンジニアリング[1]
富士通パーソナルズ[1]
富士通[32]

5. 所感

ディプロマサブリメント等で学修成果を可視化し、学生自身が自己理解を深め成長を実感できる教育基盤の促進を図る東京都市大学様の取り組みを伺った。

取り組みの1つとして、1年次より「プレ・ディプロマサブリメント」を提示し学修の習熟度を教員と学生が共有し、学生のキャリア形成と学修プログラムに生かす体制を整備している。その「学生の成長」を支援するシステムが「TCU-FORCE」である。システムの機能としては、①レーダーチャートによる定量情報の表示。②承認されたアピールポイントの定性情報の表示。③キャリアガイダンスで目標設定⇒振り返り⇒再目標設定 <PDCAを習慣化>。④キャリアポートフォリオ機能で日々の活動を記録。が主な機能としてあった。

「TCU-FORCE」では、成績情報、PROG、語学試験などの情報のほかに、例えば次のような画面も用意されていた。①TOEIC試験や留学、研究活動について学生から担当教員に申請し、担当教員がコメント返信や承認をする画面。②教職員は閲覧することができない学生が日々の活動記録を登録する画面などもあった。

本発表の後、グループにわかれ情報交換をおこなった。質疑応答では、「教員の協力・理解をどう得るか」「科目との関係について」「導入時の苦労した点」「個人情報の共有の範囲、インシデントへの対応」「一人の担当する教員の学生数」「ポートフォリオ入力の工夫」などがあがり、回答を戴いた。

今回、このような先行事例を伺うことができ、大変有意義な機会となったと思う。

(事務局 富士通 文教ビジネス推進統括部 ビジネス企画部 池谷)